

○あの日を忘れない ～きざむ 1. 17 阪神淡路大震災から 25 年～



1月17日(金)、6400名を超える尊い命を奪った阪神淡路大震災から25年を迎えました。本校でもSHRを活用して追悼の黙とうを行いました。そのあと担任の先生からもご指導いただきました。

人々から震災の記憶が少しずつ薄れていくなか、南海トラフ巨大地震や多発する自然災害に備えるため、主体的に判断して実践する力や行動する力、助け合いやボランティア精神、共生の心の育成することが「兵庫の防災教育」として求められています。

事務室前のモニターには、震災当時の映像が映し出されています。「伝え」「活かし」「備える」、経験、教訓を忘れない日にしたいと思います。



○キーワードはYRDZ ～薬物乱用防止教育講話～



1月17日(金)6限、学校薬剤師の谷明子先生から、1年生を対象に薬物乱用防止教育講話を行っていただきました。講話に先立って4名の生徒が、薬物をすすめられる生徒の心の動きを表現する寸劇を行ってくれました。心の動きをよく表現していました。そのあと谷先生の講話がありました。パンフレットやDVDを使って分かりやすく説明していただきました。

最後にまとめとして、自分に忍び寄ってくる薬物のバイヤー(役 谷先生)への対応について、生徒の代表に次の3つのステップを実際に行ってもらいました。

3つのステップは、①話をはぐらかす ②とにかくノーという ③逃げる です。

今まで私が受けてきた「薬物乱用防止」の講話は、講演を聞くだけのことが多かったのですが、自分のこととして考えやすい、わかりやすい、実感できるものであったと思います。インターネットが普及し、薬物の魔の手は我々のすぐそばにあります。しっかり対応できる人になりましょう。ありがとうございました。

Y…薬物 R…乱用 D…ダメ Z…ゼットイ